



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 東
コード番号 8769 URL <https://www.armg.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部 (氏名) 天田貴之 TEL 03-5794-3800
ディビジョンマネジャー
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,923	18.5	606	114.2	611	107.1	178	△8.7
2024年3月期第3四半期	5,000	9.9	283	44.1	295	62.8	195	102.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 178百万円 (△8.7%) 2024年3月期第3四半期 195百万円 (102.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	10.96	-
2024年3月期第3四半期	11.71	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,168	3,393	40.9
2024年3月期	6,545	3,980	60.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,342百万円 2024年3月期 3,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	21.5	940	29.5	940	27.5	650	28.6	40.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 2 社 株式会社Mediplat、株式会社フィッツプラス

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	17,280,200株	2024年3月期	17,280,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,583,354株	2024年3月期	590,851株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	16,282,257株	2024年3月期3Q	16,684,800株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式(2025年3月期3Q 308,200株, 2024年3月期 308,200株)が含まれております。また、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2025年3月期3Q 308,200株, 2024年3月期3Q 308,200株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善するなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界経済における政情不安や円安傾向、物価上昇による影響等があり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは、「企業に未来基準の元気を！」というコーポレートメッセージの下、人々が「安心して働ける環境」と企業の「活力ある個と組織」をみなさまと共に創り出すことをミッションに、ウェルビーイング関連領域（*）の事業活動を展開いたしました。2024年5月に策定した「中期経営計画2026」（2024年度～2026年度）につきましては、“効果につながるプラットフォームとソリューションをより多くの企業に提供しウェルビーイング領域における圧倒的地位を目指す”を骨子とし、実効性のある豊富で質の高いサービスをワンストップで提供することにより、顧客企業の真のパートナーとしてウェルビーイング経営を支援することを基本方針としております。具体的には、(1) 「アドバンテッジ ウェルビーイング DX P」（**）を基軸とした総合販売の継続と進展、(2) 既存事業のオーガニックグロース強化、(3) 飛躍的成長のための新たな取り組みの推進、(4) チャネル販売の推進、(5) システム・業務改革の推進および収益性の向上を重点テーマとして各種施策を展開いたします。

当第3四半期連結累計期間におきましては、「アドバンテッジ ウェルビーイング DX P」を軸に顧客企業への複数サービス提供の総合提案営業を引き続き推進し、新規顧客の獲得とウェルビーイング関連の事業領域における課題解決ニーズに対応した様々なソリューションの提案活動を行ってまいりました。また、オンライン医療相談や産業医紹介サービスなど企業の産業保健支援を主力事業としてクラウド型健康管理サービス「first call」を提供する株式会社Mediplatと特定保健指導サービスを主力事業として展開する株式会社フィッツプラスを、2024年9月30日を効力発生日として両社の全事業を会社分割（吸収分割）により当社の連結子会社が承継いたしました。当第3四半期連結会計期間から連結業績に寄与いたしております。

（*）当社事業における心身の健康、従業員の成長、リスクの予防と発生時の支援、両立支援、福利厚生、余暇支援、会社との一体感醸成等の業務領域

（**）ストレスチェック義務化対応プログラム「アドバンテッジ タフネス」による調査結果や健康診断結果など心身の健康データや、勤怠・休業等の人事労務情報を集約し、ダッシュボードでの見える化、データ分析、課題抽出、効果的なソリューションの提案を行うデータマネジメントプラットフォーム

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、メンタリティマネジメント事業及び就業障がい者支援事業が堅調に推移し、増収となりました。費用面につきましては、従業員の賃金アップに伴う人件費の増加、成長戦略に基づくシステム投資に伴うソフトウェア償却費など経費負担は増加いたしました。売上高が伸長したことにより増益となりました。また、当第3四半期連結会計期間から、株式会社Mediplatおよび株式会社フィッツプラスの業績が連結業績に寄与いたしております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高5,923百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は606百万円（前年同期比114.2%増）、経常利益は611百万円（前年同期比107.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は連結子会社Resily社に対するのれんおよび同社事業の固定資産について、第2四半期連結会計期間において減損損失を計上した影響等により178百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

（メンタリティマネジメント事業）

当事業におきましては、ストレスチェックやエンゲージメントサーベイを起点に組織改善までを担うワンストップサービス「アドバンテッジ タフネス」の新規顧客の獲得に注力いたしました。また、組織改善のPDCAを加速するパルスサーベイシステム「アドバンテッジ p d C a（ピディカ）」の導入などエンゲージメント領域の拡大や顧客企業の課題解決ニーズに対応した効果につながる様々なソリューションの提案活動を推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、「アドバンテッジ タフネス」の販売価格改定の効果やソリューション売上が好調に推移いたしました。また、株式会社Mediplatおよび株式会社フィッツプラス2社の事業が当セグメントの業績に寄与したことにより大幅な増収となりました。費用面につきましては、人件費やシステム投資に伴う償却費負担の増加により経費負担が増加いたしました。売上高が伸長したことにより増益となりました。

これらの結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は4,548百万円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益は741百万円（前年同期比76.9%増）となりました。

（就業障がい者支援事業）

当事業におきましては、新たな連携先との関係構築及び既存連携先との関係深化によるGLTD（Group Long Term Disability：団体長期障害所得補償保険）の新規顧客開拓に取り組みました。また、会社と傷病休のほか産

休・育休・介護休業等により休業中の従業員を繋ぎ、人事部門の負担とリスクの軽減と休業者の復職や仕事の両立をサポートする休業者管理支援クラウドサービス「ADVANTAGE HARMONY (アドバンテッジハーモニー)」の営業活動を推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、GLTD販売および「ADVANTAGE HARMONY (アドバンテッジハーモニー)」の新規契約が堅調に推移し増収となりました。費用面につきましては、システム関連など経費負担が増加いたしました。売上高が伸長し、増益となりました。

これらの結果、就業障がい者支援事業の売上高は1,166百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は265百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

(リスクファイナンス事業)

主に企業等に勤務する個人を対象として保険商品を販売している当事業におきましては、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比で減収となりました。費用面につきましては、効率的なオペレーション業務体制の維持によりコスト抑制に努めました。

これらの結果、リスクファイナンス事業の売上高は207百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は142百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より1,623百万円増加し、8,168百万円となりました。流動資産は469百万円増加し、3,325百万円となりました。これは主に、吸収分割により取得した事業により各流動資産項目が増加したことによるものです。固定資産は1,153百万円増加し、4,843百万円となりました。これは主に、Resily事業にかかる固定資産の減損損失計上による減少があった一方で、吸収分割により取得した事業によりのれんや無形固定資産が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より2,210百万円増加し、4,774百万円となりました。流動負債は650百万円増加し、2,859百万円となりました。これは主に、新規の借入により1年内返済予定の長期借入金が増加したこと、吸収分割により取得した事業により各流動負債項目が増加したことによるものです。固定負債は1,559百万円増加し、1,915百万円となりました。これは主に、新規の借入により長期借入金が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より586百万円減少し、3,393百万円となりました。これは主に、配当を実施したこと、自己株式の取得を実施したことによるものです。なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は41.3%となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月14日の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428,867	1,548,240
売掛金	1,073,957	1,256,657
保険代理店勘定	192,922	73,878
その他	159,921	446,717
流動資産合計	2,855,668	3,325,493
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	322,427	323,567
減価償却累計額	△199,908	△212,941
建物附属設備(純額)	122,519	110,625
工具、器具及び備品	161,482	170,371
減価償却累計額	△136,832	△143,739
工具、器具及び備品(純額)	24,650	26,631
リース資産	6,600	6,600
減価償却累計額	△831	△1,821
リース資産(純額)	5,768	4,778
有形固定資産合計	152,937	142,035
無形固定資産		
のれん	273,062	928,530
ソフトウェア	2,034,092	1,904,406
ソフトウェア仮勘定	311,365	502,679
その他	13,619	15,378
無形固定資産合計	2,632,139	3,350,994
投資その他の資産		
投資有価証券	557,579	557,579
敷金及び保証金	177,994	206,440
繰延税金資産	156,654	574,191
その他	12,269	12,140
投資その他の資産合計	904,499	1,350,351
固定資産合計	3,689,576	4,843,382
資産合計	6,545,244	8,168,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	46,967	226,416
未払金	332,085	471,371
未払法人税等	181,815	27,779
前受収益	757,222	1,361,675
保険料預り金	192,922	73,878
リース債務	1,452	1,452
賞与引当金	209,212	125,623
役員賞与引当金	3,454	7,980
その他	314,013	393,474
流動負債合計	2,209,146	2,859,650
固定負債		
長期借入金	121,229	1,628,572
株式給付引当金	151,278	178,895
リース債務	5,014	3,925
資産除去債務	78,055	103,895
固定負債合計	355,577	1,915,288
負債合計	2,564,723	4,774,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,964	365,964
資本剰余金	317,554	317,554
利益剰余金	3,840,075	3,812,282
自己株式	△594,203	△1,152,994
株主資本合計	3,929,390	3,342,806
新株予約権	51,130	51,130
純資産合計	3,980,520	3,393,936
負債純資産合計	6,545,244	8,168,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,000,383	5,923,092
売上原価	1,551,848	1,841,193
売上総利益	3,448,535	4,081,899
販売費及び一般管理費	3,165,332	3,475,368
営業利益	283,202	606,531
営業外収益		
受取配当金	11,263	13,206
未払配当金除斥益	388	363
助成金収入	1,092	659
その他	484	793
営業外収益合計	13,228	15,021
営業外費用		
支払利息	1,296	5,451
支払手数料	—	4,885
その他	3	—
営業外費用合計	1,299	10,337
経常利益	295,130	611,215
特別利益		
投資有価証券売却益	2,143	—
特別利益合計	2,143	—
特別損失		
減損損失	—	234,699
固定資産除却損	—	9
特別損失合計	—	234,708
税金等調整前四半期純利益	297,274	376,506
法人税、住民税及び事業税	81,828	145,539
法人税等調整額	20,101	52,579
法人税等合計	101,930	198,119
四半期純利益	195,344	178,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,344	178,387

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	195,344	178,387
四半期包括利益	195,344	178,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,344	178,387
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、当第3四半期連結累計期間において当社株式1,000,000株、564,682千円の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が1,152,994千円となっております。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、新たに設立した株式会社アドバンテッジメディカル（現商号：株式会社Mediplat）と株式会社アドバンテッジヘルスケア（現商号：株式会社フィッツプラス）を連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	479,917千円	562,460千円
のれんの償却額	9,055	39,289

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,729,784	1,051,508	219,090	5,000,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,729,784	1,051,508	219,090	5,000,383
セグメント利益	419,000	216,263	161,437	796,701

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	796,701
全社費用(注)	△513,499
四半期連結損益計算書の営業利益	283,202

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、ここむ株式会社及びResily株式会社の全株式を取得したことにより、のれんが277,843千円発生しております。当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定が反映されております。なお、暫定的な会計処理の確定による金額の変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,548,973	1,166,538	207,580	5,923,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,548,973	1,166,538	207,580	5,923,092
セグメント利益	741,271	265,485	142,283	1,149,040

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,149,040
全社費用(注)	△542,508
四半期連結損益計算書の営業利益	606,531

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、Resily事業にかかる固定資産について、投資額の回収が見込めなくなったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は234,699千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、Resily事業にかかるのれんの未償却残高204,506千円を減損損失として特別損失に計上しております。なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損損失も含めて記載しております。

また、「メンタリティマネジメント事業」セグメントにおいて、株式会社Mediplat及び株式会社フィッツプラスの全事業を吸収分割により承継したことにより、のれんが870,623千円発生しております。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。